

2017（平成29）年度事業報告及び附属明細書

（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

1. 会長ならびに庶務担当理事報告

(1) 総会

2017年度通常代議員総会を2017年6月9日、横浜市開港記念会館（横浜市）において開催し、次の議案を可決した。

- 第1号議案 平成28年度収支決算書の件
- 第2号議案 平成29・30年度理事選任の件
- 第3号議案 平成29・30年度監事選任の件

(2) 理事会、委員会等の開催（メール審議）

2017年度（2017年4月1日から2018年3月31日）は、以下の通り開催した。

代議員総会	6月9日				
理事会	4月23日	6月9日	(7月13日)	11月23日	2月14日
幹事会	6月8日				
業務担当理事会	4月15日	7月11日	11月9日	1月30日	
編集委員会	6月20日	8月29日	10月19日	1月11日	
					(5月15日、5月22・29日、8月3日、10月13・26日、2月19日、3月1日)
トピックス等担当委員	6月10日	(1月16日)			
国際交流委員会	(1月9日)				
学術広報委員会	(11月28日)				
学会賞選考委員会	2月14日				
タスクフォース委員会	6月10日				
将来構想検討委員会	6月9日				
選挙管理委員会	8月5日	9月5日	10月12日		

(3) 会員等の状況

1) 会員の異動状況

	28.4.1	入会	退会	29.3.31	年度末退会
正会員(名)	673	39	6	706	33
学生会員(名)	27	37	5	59	36
団体会員(件)	119		2	117	8
賛助会員(件)	33 (55)	1 (5)		34(60)	2 (4)

2) 役員等(2018.3.31 現在)

名誉会員	13名
理事	16名
監事	3名
幹事	26名
功労会員	77名
代議員	109名
賛助会員幹事	18名

3) 委員会等 (2018.3.31 現在)

学術・広報委員	6名
国際交流委員	11名
編集委員	11名
JNSV 編集委員	11名
トピックス等担当委員	33名
タスクフォース委員会	16名
将来構想検討委員会	11名

(4) 研究業績の表彰、奨励

1) 学会賞受賞者

櫻庭 春彦 (香川大学農学部応用生物科学科 教授)
「補酵素 NAD(P)・FAD 依存性酵素の応用構造生物学的研究」
駒井 三千夫 (東北大学大学院農学研究科栄養学分野 教授)
「ビタミン K の新規機能の解明に関する研究」

2) 奨励賞受賞者

小川 貴央 (島根大学生物資源科学部生命工学科 特任助教)
「植物の補酵素型ビタミン代謝における Nudix hydrolase ファミリーの生理的役割」
廣田 佳久 (芝浦工業大学システム理工学部生命科学科 助教)
「ビタミン K の生体内代謝機構に関する研究」

3) 企画・技術・活動賞受賞者

国際栄養食品協会 (AIFN) (天ヶ瀬 晴信, 末木 一夫, 橋本 正史, 佐次本 英行)
「日本ビタミン学会の国際交流や行政対応の活動などに対する業界としての貢献」

4) 功労者表彰受賞者

紀氏 健雄 (神戸学院大学名誉教授)
小池 吉子 (長崎大学元助教授)
成澤 邦明 (東北大学名誉教授・東北文化学園大学名誉教授)
村田 晃 (佐賀大学名誉教授)
湯川 進 (和歌山県立医科大学名誉教授)

5) 学生優秀発表賞受賞者

阿部 圭祐 (富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻)
「ゲノム編集法で作成した VDR 改変ラットにおける 25(OH)ビタミン D₃ の生理作用」
伊東 優貴 (芝浦工業大学大学院理工学研究科システム理工学専攻)
「ビタミン K 結合タンパク質の解明を目指した新規蛍光プローブの合成」
葛野 侑香 (立命館大学生命科学部)
「*Bacillus* sp. NTP-1 株のテルル酸還元酵素の同定とその機能解析」
檜崎 遥子 (徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻)
「リン生体利用率の異なる食品が活性型ビタミン D 値に及ぼす影響」

6) 若手海外優秀発表賞

新井田 裕樹 (徳島大学大学院栄養生命科学教育部)
「Abnormal lipid metabolism in skeletal muscle mediates chronic kidney disease-induced sarcopenia」
戸部 隆 (立命館大学 生命科学部)
「Delivery of selenide to selenophosphate synthetase for selenoprotein biosynthesis in bacteria」
吉岡 泰淳 (神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科)
「Enzymatically synthesized glycogen suppresses antigeninduced allergic and inflammatory responses in basophilic cells.」

2. 学術・広報担当理事報告

(1) 年次大会、講演会等の開催

日本ビタミン学会第69回大会は、2017年6月9日から10日までの2日間、一瀬宏大会委員長によって、横浜市開港記念会館（横浜市）を会場として開催された。大会参加者数は、約400名であり、学会賞等の受賞講演、口頭またはポスターによる一般演題114演題発表（うち学生発表44演題）、基調講演、特別講演、教育講演、特別企画、シンポジウムが行われた。

1) 基調講演

Dr. Paul Coates (Director, Office of Dietary Supplements, NIH, USA)

「Dietary Supplements and Health Promotion: Assessing the Evidence」

2) 特別講演

江崎 禎英（経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長）

「超高齢化社会における次世代ヘルスケア産業育成の目的と意義」

3) 教育講演

田中 清（京都女子大学家政学部食物栄養学科）

「健康寿命の延伸におけるビタミンの役割とその社会的意義」

4) 特別企画

Dr. Paul Coates (Director, Office of Dietary Supplements, NIH, USA)

「Patterns of Dietary Supplement Use in the United States」

永津 俊治（名古屋大学名誉教授，東京工業大学名誉教授，藤田保健衛生大学名誉教授）

「ビタミン・バイオフィクター科学の後人へのメッセージ」

5) シンポジウム

《シンポジウム1》 「アミノ酸代謝を調節する補因子研究の最前線」

一瀬 宏（東京工業大学 生命理工学院）

「アミノ酸代謝におけるビオプテリンの生理的重要性について」

杉浦 悠毅

「質料分析による網羅的な代謝経路／補酵素の動態解析」

下村 吉治（名古屋大学大学院 生命農学研究科）

「BCAA代謝を調節するビタミンB1」

柴田 克己（滋賀県立大学 人間文化学部）

「トリプトファン代謝を支配するB群ビタミンの栄養状態」

《シンポジウム2》 「ビタミン・バイオフィクターでアンチエイジング」

丸山 和佳子（愛知学院大学 心身科学部健康栄養学科）

「神経老化に対する栄養学的介入の現状と未来」

石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所 分子老化制御）

「抗酸化ビタミンC, Eによるアンチエイジング」

井上 聡（東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿ゲノム探索）

「ビタミンKとロコモティブ症候群」

荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）

「フレイルに対するビタミン・バイオフィクターの効果」

《シンポジウム3：日本ビタミン学会・日本病態栄養学会合同シンポジウム》

「臨床におけるビタミン・バイオフィクターの最近の話題」

加藤 明彦（浜松医科大学血液浄化療法部）

「CKD患者の栄養管理におけるビタミン・バイオフィクター」

幣 憲一郎（京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部）

「臨床栄養管理・栄養指導時における各種ビタミンの意義」

稲葉 雅章（大阪市立大学代謝内分泌病態内科学）

「糖尿病とビタミン」

高田 龍平（東京大学医学部附属病院薬剤部）

「薬剤とビタミンKおよびビタミンEの相互作用」

(2) 市民公開講座

2017年11月11日(土)に、津川 尚子実行委員長によって、いたみホールにて「知っていますか？ビタミンのこと～骨を守るためのビタミン～」をテーマとし、一般市民約100名参加のもと開催された。

岡野 登志夫（神戸薬科大学）

「健康とビタミンについて」

田中 清（京都女子大学）

「骨の健康とビタミン・ミネラルとのかかわり」

栗原 晶子（大阪樟蔭女子大学）

「骨の健康を守るための食事とは」

(3) 共催・協賛・後援

1) 第15回 高付加価値食品開発のためのフォーラム(協賛)

主催：日本食品・機械研究会

2017年9月15日(金)・16日(土) 帝人アカデミー富士

2) 2017年度市民公開講演会『機能性食品の素材としてのビタミン・バイオフィクターの新たな展開』（共催）

主催：公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会

2017年10月20日(金) 関西大学百周年記念会館

3) シンポジウム「アンチエイジングのためのビタミン・バイオフィクター」（協賛）

主催：ビタミンB研究委員会

2017年3月9日 京都大学 楽友会館

(4) ホームページによる広報活動

各種事業の案内・募集等ホームページを積極的に活用し、一般市民、会員に有用な情報を常に提供している。また、一般、マスコミからのビタミンなどに関する質問に対応した。

3. 編集担当理事報告

(1) 学会誌「ビタミン」

2017年度は、91巻4号～92巻3号、計11冊を発行した。

掲載論文は、総説(1)、総合論文(9)、原著(4)、ミニレビュー(16)、オピニオン(1)、研究論文紹介(14)、トピックス(30)である。

(2) 英文誌「Journal of Nutritional Science and Vitaminology」(JNSV)

公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集し2017年度発行：Vol.63-2～Vol.63-6計5冊の紙媒体による発行と、Vol.64-1については、オンラインジャーナルによる発行を行った。

(3) 投稿規約の一部改訂

(4) 国立情報学研究所の電子図書館事業終了に伴い、J-STAGE への移行処理を行った。

4. 会計担当理事報告

次の件について検討し、理事会に諮った。

(1) 2016（平成 28）年度収支決算書類

(2) 2018（平成 30）年度収支予算書類

(3) 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会へ研究助成申請

2017（平成 29）年度事業報告 附属明細書

2017（平成 29）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。